

## 平成 26 年度 運営協議会 議事録

- 1 開催年月日 : 平成 26 年 12 月 3 日 (水) 午前 10 時から
- 2 開催場所 : 八丈島一般廃棄物管理型最終処分場管理棟
- 3 委 員 : 全委員 15 名 (出席委員 13 名 欠席委員 2 名)

### 4 内 容

- 座長の挨拶
  
- 東京都島嶼町村一部事務組合 (以下、一組) 事務局長挨拶
  
- 各委員の自己紹介
  
- 本日の進め方について、次のように一組委員から説明
  - ① 処分場の維持管理についての確認
  - ② 地下水と汚水漏洩検知についての説明
  - ③ 意見交換
  - ④ 埋立地の視察
  
- 処分場の維持管理について、次の資料を使用して一組係長が説明  
資料 : 維持管理資料 1 : 受入一覧 (平成 25 年度)  
維持管理資料 1 : 受入一覧 (平成 26 年度)  
維持管理資料 2 : 埋立一覧 (平成 25 年度)  
維持管理資料 2 : 埋立一覧 (平成 26 年度)  
維持管理資料 3 : 埋立進捗状況  
維持管理資料 4 : 水質検査採取箇所図  
維持管理資料 5-1 : 水質検査結果 (上流側モニタリング井戸) 2 枚  
維持管理資料 5-2 : 水質検査結果 (下流側モニタリング井戸) 2 枚  
維持管理資料 5-3 : 水質検査結果 浸出水 2 枚  
維持管理資料 5-4 : 水質検査結果 放流水 2 枚  
維持管理資料 6-1 : 平成 25 年度後期点検記録 2 枚  
維持管理資料 6-2 : 平成 26 年度前期点検記録 2 枚
  
- 処分場の地下水と汚水漏洩検知について、パワーポイントを使用して一組参事が説明  
主な説明内容
  - ① 一般的な処分場における浸出水及び地下水の流れ
  - ② 上流側モニタリング井戸の必要性
  - ③ 八丈処分場における地盤改良 (中層改良、表層改良及び盛土改良)
  - ④ 生活環境影響調査における地下水の流れ
  - ⑤ 遮水シート下に設置した地下水集排水管及びモニタリング専用管について
  - ⑥ 遮水シート上に設置した浸出水集排水管について
  - ⑦ 遮水シート上下に設置し配管と原水ピット及び地下水ピットについて

- ⑧上流モニタリング井戸の構造について
- ⑨上流モニタリング井戸における地下水採取について
- ⑩下流モニタリング井戸における採水不能について
- ⑪遮水シート下に設置した配管と汚水漏洩対策について
- ⑫平成 26 年 11 月 12 日の東京新聞掲載記事について

・意見交換

- ① 委員から、上流モニタリング井戸に設けた地下水採取用の容器の水は、いつも同じ水ではないかとの質問に、一組委員から電気伝導率等は変化しており、入れ替わっていると回答。

8月に下流モニタリング井戸に地下水がなかったと言う質問に、一組委員から、地下水採取前の数日間に雨が降らなかったためと回答。

上流、下流に水が出るまで新たにモニタリング井戸を掘ってほしいとの質問に、一組委員から、新たに井戸を掘って水が出ても、それが、処分場の下を流れた地下水かどうか判断できない、また、穴を開けすぎて、今、採取している地下水まで出なくなる可能性もあるので掘る予定はないと回答。

浸出水集排水ピットに屋根を設けるなど地下に降りられるようにできないかとの質問に、一組委員から、作業は全て地下に降りなくてできるようにしており、屋根を設置する予定はないと回答。

地下水は処分場を迂回しており、汚水の漏洩があっても地下水に流れ込まないのではないかとの質問に、一組委員から、地下水は埋立地の真下を通る2つのルートがあるため、汚水漏れがあれば地下水に流れ込むと回答。

- ② 委員から、汚水漏洩時に地下水ピットに流れ込んだ汚水は、処理施設で処理するため原水ピットに移送すると言ったが、地下水ピットに入らなくていいのかとの質問に、一組委員から、上から排水ポンプを設置するので地下水ピットに入る必要はないと回答。

- ③ 委員から、同じ上流と下流の場所でいいから水のある層まで穴を掘って、新たに掘った井戸で上流と下流の水質検査結果を比べてほしいとの質問に、一組委員から、持ち帰って島嶼一組及び構成団体の各町村長に、要望があったこととお話すると回答。

- ④ 委員から、地下水観測井のモニタリング調査、遮水シート下における複数区画による漏水の把握、電気探査法及び運転マニュアルについて質問があり、一組委員から、遮水シート下にはA区画及びB区画と複数の区画がありモニタリング専用管が設置され、モニタリングもしている。電気探査法については、平成 25 年度の運営協議会の場で漏洩電流式漏水検知法を使い、遮水シートに穴や亀裂がないことを確認している。さらに、運転マニュアルについては、今、あるものを使用しているが、必要が生じた時点で、随時、修正すると回答。

- ⑤ 委員から、地下水を利用した水道水源について影響を与えないかとの質問があり、一組委員から、処分場の放流水が町の地下水を利用した水道水源に影響を与えていないので、万一、汚水が漏れても水道水源への影響は無いと回答。

- ⑥ 委員から、モニタリング専用管は全面に設置していないので、汚水が漏れても管の中に入らないのではないかとの質問に、一組委員から、モニタリング専用管の設置に際しては汚水が流れ込みやすいように、地面を掘って設置していると回答。
- ⑦ 委員から、自主基準値を設けてはどうかとの質問に、一組委員から、いま放流している水は、十分、規制基準値を満足しているので自主基準値を設ける考えはないと回答。
- ⑧ 委員から、水海山は水道水源で、この水を飲んでいるからとても心配との質問に、一組委員が、水海山は水源にしないと聞いていると回答し、また、座長から、水道水については現在問題は発生していないが、引き続き水質調査を実施すると回答。
- ⑨ 委員から、運営協議会の前に、島の人たちが集まって意見交換や勉強会ができないかとの質問に、座長から、皆さんが良ければ町として実施したいと回答。
- ⑩ 委員から、地下水の流れを憶測ではないもので提示してほしい、末吉が設けた公害防止協定を結んでほしいとの質問に、一組委員が、地面を剥いで地下水を見ない限りどんなにボーリング調査を行っても憶測になり、どこで納得するかだと思うこと。  
住民協定については、一組の構成団体の1つに八丈町が入っているので、町の要望等は反映することができるので結ぶ予定はないと回答。
- ⑪ 委員から、今回、配布された埋立量の数値が、昨年配布されたものと違うという質問に、一組事務局が、昨年の運営協議会で説明したとおり、埋立量を算出する係数が昨年は仮の値であったが、測量を行い正式な値が出たため、今年度の資料はその正式な値を使用して算出したため、昨年度配布した資料と異なる値になっていると回答。

- 座長が、運協の終了を宣言。
- その後、希望者による埋立地の視察が行われた。

協議会終了 12時40分